



さいから原

匝瑳市立共興小学校
令和7年 10月10日
TEL 72-4525 vol. 16

HP: <http://es-kyoukou.sakura.ne.jp/2024>

十五夜だんごづくり

地域の皆様のご協力のもと5・6年生中心に行なった田植え、稻刈り、おにぎりづくり、にはまだ続きがありました。十五夜での“だんごづくり”です！地域の方の活動に5・6年生も参加させていただきました。

10月6日、5・6年生は、全校分のおにぎりと5年生家庭科での炊飯学習で使ってもまだ残っていたお米を持って共興コミュニティへ。粉にして、練って、蒸して、棒状に、そして団子にするところを見学、体験させていただきました。もちろん、おいしくいただきました！



宿泊体験学習～小見川青少年自然の家～

台風の影響が心配される中の実施となりましたが、初日は、爽やかな秋晴れの中、八日市場駅から電車に乗って出発できました。そして、計画通りの活動ができました。

2日目は風が強く、館内での活動となりましたが、5年生をリーダーに、自分たちで考えて行動する場面がたくさん見られました。豊和小のみんなとも友達になり、また、共興小4・5年生の絆がより深まりました2日間でした。

今年度は豊和小学校の4・5年生と合同での実施です。



「友情の火」「努力の火」「健康の火」「奉仕の火」を
いつまでも心に灯し続けましょう！

前期終了式～校長の話 概要～



今日で前期が終わり、みなさんには担任の先生から通知表「あゆみ」が手渡されます。「あゆみ」を見ると、みなさん一人一人ががんばったところがわかります。家に帰ったら、「あゆみ」を見ながら、お家の人と一緒に、**自分のがんばったところをできるだけたくさん見つけてみてください！**

私は、共興小のみなさんががんばったことの一つとして、「**読書**」をあげたいと思います。前期今日までの読書賞は全校で198枚でした。上級生が下級生に読んであげている姿も見られました。前回紹介した戦争の本についても「全部読んだよ」「これはすこし怖かったよ」と話している声も聞こえました。読むだけでなく、どこかが心に残ったのかを話したり、書いたりしている人がたくさんいて、とても感心しています。

これは、9月に私が読んだ本です。4冊です。共興小の子どもたちの平均は、計算したら、1ヶ月に約8冊でした。すごいですね！

今月27日からは**「読書週間」**です。図書委員会は、今年も楽しい企画を考えてくれていることでしょう。



ということで、今日は「本」の話をします。

「木」という漢字の根元に印を付けたものが「木」という漢字の成り立ちです。木の「根本」と書いて「こんぽん」と読み「一番大切なもと」という意味です。他にも本という漢字がつく熟語には「本物」「本当」「本質」「手本」「見本」・・・と、大切なものを表す熟語がたくさんあります。**「本」は「知識（知っていること）のもと」**となるからですね。

ところで、いつから読書週間ってあるのでしょうか。調べてみました。前回話した**大きな戦争**「太平洋戦争」に日本が負けてしまった2年後だそうです。生きることに精一杯で本なんて読んでいる状態ではないように思えますが、**「読書の力で日本を平和にしたい！」**という思いから始まったそうです。でも、実はそれよりも22年も前に「図書週間」というものがあったそうです。それは、**大きな地震**「関東大震災」が起こった次の年に始まっていたそうです。戦争や震災後の大変な時を乗り越えるのに**「本の力」**が発揮されてきたのだなあ、**本の力ってやっぱりすごい**なあと感じました。



子どもたちは、読書の後、各学年に応じた方法で**アウトプット**（だれかに話す・感想を書く・だれかに読み聞かせる・・・等）を行っています。

私もアウトプットを心がけています（読んで感動しても納得しても、忘れてしまうことが多いので）。今読んでいる本が「本」に関するものであったため、「校長の話」でも少しふれた内容（心に残った部分）を以下にアウトプットします。

『**ようこそ、ヒョナム洞書店へ**』 ファン・ボルム著（集英社）

～ソウル市内にある小さな本屋さんで、新米女性書店主ヨンジュと店に集う人々の本とささやかな毎日を描いたお話です。～



以下、ヨンジュの本屋さんでトークイベントが行われたときの、ある作家の言葉の一部を抜粋しました。「本を読めば世の中が見えるようになるって言いますよね。世の中が理解できるようになったら強くなりまますよね。でも、強くなるだけじゃなくて、同時に苦しくもなるんですよ。…省略… **本は、私たちを誰かの前や上には立たせてくれません。その代わり、そばに立てるようしてくれる気がします。**…省略…」本を読むと他者に共感するようになるじゃないですか。だから、本を読む人が増えれば世の中が少しでもよくなるんじゃないかなと、私は思っています。」

韓國のお話ですが、戦後「読書の力で日本を平和にしたい」と始まった**日本の読書週間**に通じるものがあるなと思いました。